

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・創業の節目となる年を迎え、初売りからイベントを開催している。各種イベント、催事場でのシャワー効果を含め、各売場のチラシが記念の特売品等で非常ににぎわい、来客数が増加している。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・天災で10月以降は売上が不振だったが、年明けから客の購買意欲が高まり、売上、来客数とも増加し、良くなっている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年1月は冬物最終処分の半額セールを実施し、来客数、販売量が伸びる時期である。今年は1月に入って冷え込んだことも重なり、売上は好調である。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・今まで消費はかなり鈍かったが、やや意欲的な客が出てきており、単価もやや上昇してきている。
		その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	単価の動き	・原油が激しく急騰した時期は終わり、現在は単価、仕切りなど、横ばいで安定している。販売内容も良くなってきている。
		都市型ホテル（経営者）	お客様の様子	・宿泊者の一部ではあるが、忘年会などの利用額が前年を上回っている。使うところでは使っているということである。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・地元銀行の破たんから1年1か月が過ぎ、地元も落ち着いてきている。新年会など、夜の客の出足も良くなり、前年同月比で16%増収となっている。	
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・11月に食品スーパーが撤退した後にドラッグストアがオープンしたが、チラシを出しても集客力が弱い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・大型店に行くのか、商品ではなく値段だけを見て帰る客が多い。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・雪の影響で月の前半は前年を下回ったが、寒くなるにつれ冬物処分が順調である。天候に左右され、消費に力強さが感じられない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・1月は前半好調であったが、大雪の日以降、自動車での買物が大変になったことから苦戦している。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・恒例の福箱は前年比120%と伸びている。12月下旬からの急激な冷え込みで防寒衣料が一斉に動き始め、あわせて食品、住居関連品も動いて全体の数値を上げたが、中旬以降は降雪もあり、買上点数が落ち込んでいる。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・6～7年前は有名メーカーの良い靴を履いている小中学生が多かったが、今はかなり古い靴を我慢して履いている子供が目立つ。子供のそういったところまで消費が低迷している。
衣料品専門店（店長）		販売量の動き	・1月に入って寒い日が続いたために冬物商材の動きは良いが、フォーマルスーツなどの売行きは今一つである。	
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・今までは新車から3～5年で買換えていた客が、あと2年乗って様子を見ろということ、今回は車検を予約している。		
乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・新車を販売しているが、安い車しか売れない。未使用の新古車を作るとすぐに売れるので、客は本当に安さを求めている。		
住関連専門店（店長）	お客様の様子	・客の来店はあるものの、買上点数や買上単価が下がっている。		
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・新幹線駅周辺に大型チェーン店等の出店が続いている割には、前年比で売上があまり変わっていない。少しずつではあるが、良い方向に向かっている。		
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・新年会は顔合わせ程度で、主に会議だけで終わってしまうという状況で、単価も良くて6千円程度である。		
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新年会の時期であるが、前年比で集宴会が20%、宿泊が25%程度のマイナスとなっている。		
旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べ、来客数が5%ほど伸びている。		

	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・ケーブルテレビの加入者純増数が前年比で伸びている。加入後に他社へ切替、解約する客は思っていたよりは少ない。これから2、3月の転居時期に解約が集中しそうだ。
	観光名所（職員）	お客様の様子	・新年会シーズンに入り、来客数は例年並みであるが、節約ムードから日帰り客が多いことに加え、客単価が低く、旅館等の売上は例年を下回っている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価とも、さほど変わっていない。
	その他サービス [自動車整備業]（事務長）	お客様の様子	・リサイクル法が2月から施行される関係で、車検有効期間が2月までの車両が若干前倒して入庫しているが、全体の在庫量は前年並みとなっている。
	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・地域によって格差があり、市街地から離れるとまだ価格が下がっているところもあるが、全体としては落ち着いてきている。成約はいまだに現金決済が多く、一般需要は鈍い。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・正月の初売りに期待していたが、大型店に客を取られ、天気が良かった割に出足は悪い。
	一般小売店[金物]（経営者）	販売量の動き	・鉄関連製品の価格が上がり続けている。仕入先からは4月以降の値段もまた上がるうえ、品薄だといわれている。一方、販売先の建設、土木関係は景気が悪く、値上げを受け入れてもらえる状況ではない。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・競合店との競争もあるが、買い控えをする客も大変多い。必要最小限の商品しか購入せず、集客のために価格を下げた日替わり商品しか購入しないという客が目立っている。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・付近に競合店や24時間営業の店があるため、客は一か所ではなく、分けて買物している。
	乗用車販売店（販売担当）	お客様の様子	・観光地なので、ホテルなどのオーナーが客に多いが、1月に入り2軒ほど大型ホテルが再生法適用となり、2～3か月中にはあと4～5軒出るとうわさされている。年末は良かったが、1月になってからは財布のひもが固くなり、来客数、中古車の売行きは悪化している。
	その他専門店 [携帯電話]（営業担当）	販売量の動き	・正月の初売りは価格を安く設定したので成果はそれなりにあったが、価格を戻した途端に客足はぱったりと遠のいている。月末に新機種発売が予定されているが、価格が売行きを左右する大きな要因であるため、旧機種の値段がどれだけ下がるかが焦点である。
	高級レストラン（店長）	来客数の動き	・常連客には変化がないが、フリーの客が極端に減少している。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・人通りがめっきり減っていて普通の客が少ない。新年会は前年並みに入っているが、忘年会同様大口が例年より少なく、客単価も下がり気味で、全体的に良くない。一次会はあるが、二次会の流れがないような状態である。
	観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新年会が少なく、人数も小規模になっている。
	旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・昨春秋以降、販売量の漸減、前年割れが止まらない。経済環境の厳しさ、大規模な自然災害による旅行マインドの低下など要因は考えられるが、対策はなかなかみえない。
	タクシー運転手	それ以外	・新年会などある月なので、もう少し動くと思っていたが、週末でも深夜の客が少なく、売上が減少している。
	遊園地（職員）	来客数の動き	・年末の大雪により正月営業が不調に終わったことが影響し、入場者数は前年に比べ1万人減少しそうだ。利用単価も150円低下の見込みである。
	ゴルフ場（支配人）	それ以外	・冬季で一番予約が入っている年末年始がすべて雪でクローズとなり、最悪の状態である。夏の暑さはカバーできても、雪はカバーできない。今月がこれほど雪に左右されるとは予想外である。

		美容室（経営者）	販売量の動き	・成人式の着付けは美容室の売上では重要である。今年は着物販売業者から、当店通常価格の約半額で着付けをしてもらえないかと申し出があり、期待して取り組んだが、紹介された客は大した数ではなく、この値下げにより例年に比べ、全体の売上が落ちている。呉服屋が着付け教室の生徒などを使い、客に着付けをサービスするなど、他業種に客が流れる傾向があり、大変厳しい時代である。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・一つの物件が決まるまで、今まではそんなに時間がかからなかったが、客はとても慎重になっている。最後には必ず値段交渉の話になり、非常にやり辛く、採算割れとなる物件も十分ありえるような状態で、賃料、土地とも下落状態が続いている。
	悪くなっている	一般小売店〔衣料〕（経営者）	来客数の動き	・観光地であるが、旅館関係は不況が目立ち、500メートルほど先の旅館が2億円の負債を抱え倒産となった。銀行も手を出さないと聞いている。どうなるか分からない厳しい世の中になっている。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・本来の設計業務とはかけ離れた内容でも、仕事として割り切って受注しているが、単価が低く、売上に影響が出ている。新規の設計業務の受注は、なかなか見込めない。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・前年同時期に比べると、受注、販売の数量は増加している。
	変わらない	食料品製造業（営業統括）	受注価格や販売価格の動き	・中小メーカーはオーナー制度等の個々の特色を出した販売をしているが、相変わらず輸入品に押され、主力の価格帯である500～1,500円の製品が苦戦している。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・高圧ガスの需要は横ばいである。末端でのガスの使用はまだ回復していない。
		一般機械器具製造業（生産管理担当）	受注量や販売量の動き	・引き続き四輪駆動車向けの部品受注が好調であり、フル生産が続いている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車、携帯関連企業は安定した生産、利益を出しているが、下請の小零細企業は親会社の都合に振り回され、いまだに非常に厳しい状況が続いている。
		精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・引き合いは多いが、納期、コストが厳しい。
		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・秋の売出し時期であった3か月前と比べると、クリスマス、年末セールが終わって落ち着いた1月の売上は良くないが、前年と比べて特に下がっているわけではない。市場としては様子見で、いまだに上昇の気配はない。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注の減少、採算の悪化が続いている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・通常1月は輸送量が落ち込むが、暖冬によって12月に落ち込んでいた冬物輸送が、1月寒さが戻ったことで増加している。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・製造業の業況は好況感があるものの、設備投資は少なく、横ばい状態である。土木、建設業は公共事業の減少により厳しい状況が続いており、建築資材の値上がりりが収益を圧迫しているとのことである。
		やや悪くなっている	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き
	窯業・土石製品製造業（経営者）		取引先の様子	・例年の受注状況と比較すると、受注キャンセルなどがあり、明らかに悪くなっている。
	電気機械器具製造業（経営者）		受注量や販売量の動き	・例年2月は自動車関連で忙しくなるが、季節的なものである。発注が長期ではなく毎月売れたら作るという形になってきて、非常に計画が立てにくくなっている。
	不動産業（管理担当）		受注価格や販売価格の動き	・来年度の契約更改交渉が始まっているが、最近の契約内容の見直しを反映して、前年並みの価格維持が非常に難しくなっている。

		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・年度末が近づき、取引先の広告予算縮小傾向が目立つ。また、2月納品分の支払を新年度予算で4月に支払いたいという要請は前年の倍あり、サービス業の決算は依然厳しいようである。
		その他サービス業〔放送〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・製造業及び官公庁からのコマースは横ばいであるが、商業、サービス業からのスポットコマースが11月から減少している。イベント受注の落ち込みも厳しい。
悪くなっている		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・例年ならば受注、生産共にピークになる時期だが、低調に推移している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・通信機やパチンコ関係からの受注が半減している。
		輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・1月の売上は前年比12～13%減少する見込みである。3か月インフレーション上も毎月落ちているので、景気は悪くなっている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3月工期の民間工事依頼があったが、単価が通常の10%引きであることや、突然の話で人員手配ができないために、残念であるが断っている。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・建設業の新規求人数が大幅に増加している。
	変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・IT関連製造業からの派遣オーダーがぼつぼつ戻ってきているが、2～3月から稼働し、6月辺りを一区切りとしていることから、長期的な景気の持ち直しとはいえない。シルバー関連施設からの派遣要請は根強いが、適材者を見付けづらく、なかなか契約成立まで至らない。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・今までは製造業の人材派遣会社が多かったが、最近ではサービス業など他業種の募集が増えてきて、以前に比べ掲載企業が多くなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の増加傾向は変わらず、有効求人倍率も上昇しているが、新規、有効求人とも前年同月比での増加率が減少してきている。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人に変化はあまり見られないが、一部の大手企業が採用に積極的である。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・製造業で、結婚、出産退職による事務職の追加求人の問い合わせが若干あるが、例年と変わらない。
		学校〔大学〕（総務担当）	求職者数の動き	・前年同期と比べ、大学生の内定率は若干伸びている。一部学科は90%の内定率であるが、全体としては厳しい状況が続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	求職者数の動き	・生産関係は電気、電子、鉄鋼など在庫調整もあるが、12月から順調で求人数も増加している。小売部門は購買力が若干伸びていることから、求人の動きも活発である。一部に賃金の高いところもあるが、職安から求職者がかなり出てきているという情報もあり、全体としては横ばいである。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者は減少傾向にあり、そのうちの離職者も減少しているが、企業整備が数件続いたことから事業主都合による離職者は約3割と増加している。
悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・当社だけに求人を出していた客が、かなりの部分を安い業者に出すケースが増えている。また、今までは何回か募集をかけて厳選した人を採用していたところが、1回の募集で妥協して採用するということが増え、募集回数の減少により、売上がその分減っている。	